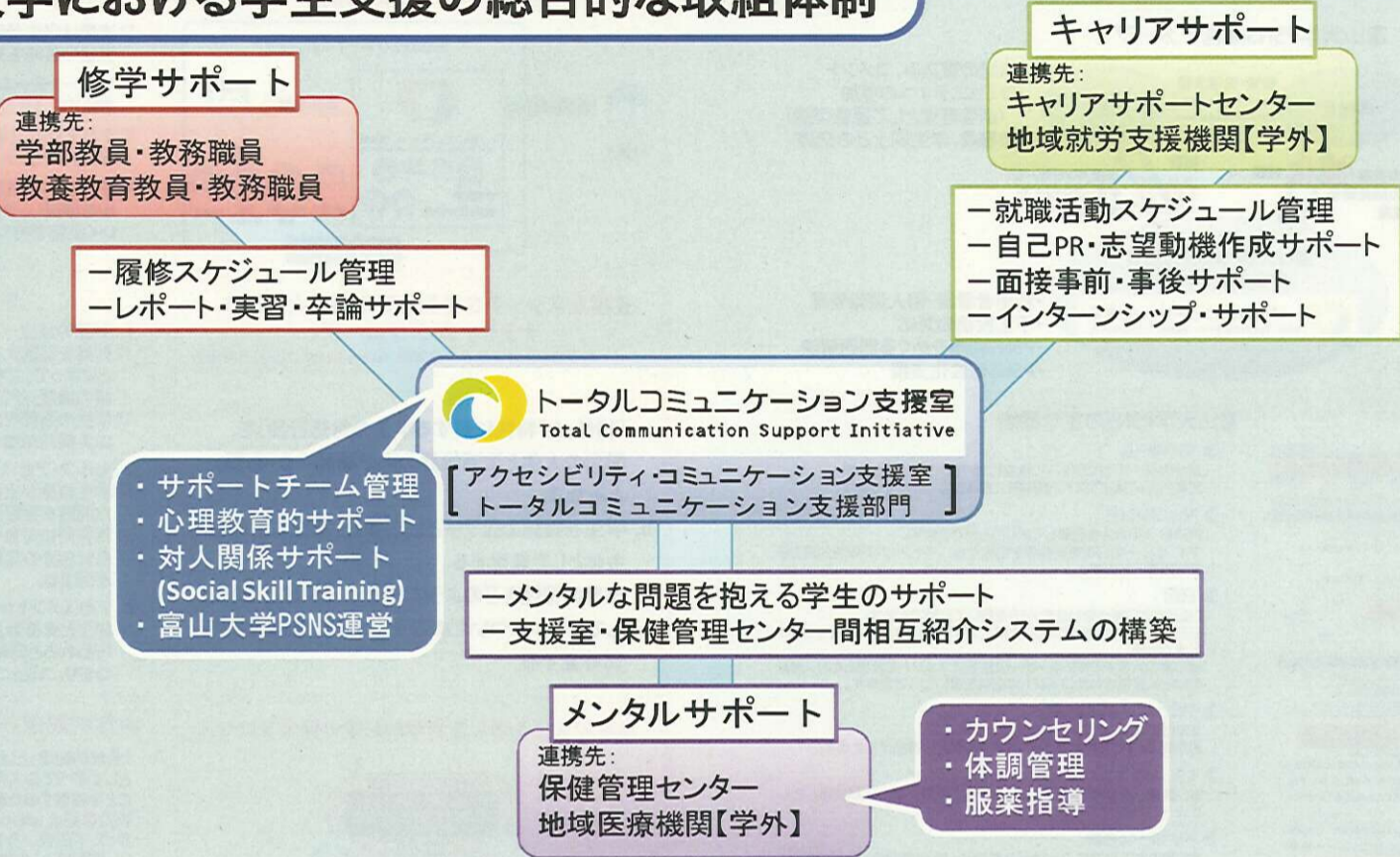


「オフ」と「オン」の調和による学生支援 —高機能発達障害傾向を持つ学生への支援システムを中核として—

富山大学 学生支援センター トータルコミュニケーション支援室 (アクセシビリティ・コミュニケーション支援室 トータルコミュニケーション支援部門)
〒930-8555 富山市五福3190 TEL 076-445-6914 FAX 076-445-6914 E-mail tcsi@ctg.u-toyama.ac.jp

富山大学における学生支援の総合的な取組体制



社会的なコミュニケーションの困難さを抱える学生

- ❑ 友人関係を求めず、サークル活動やアルバイトからも退却し、なるべくなら一人で楽しむことができる活動を好む
- ❑ ゼミや授業でのディスカッションでは、追求されたり反論されたりすると気分が落ち込み、立ち直るのに時間がかかる
- ❑ 実習や実験の場で周囲との協調性に欠く
- ❑ 教員との適度の距離を保つことができず、卒論の取組みがままならない
- ❑ 就職活動における面接で黙りこんだり、意欲をうまく伝えたりすることができない

→ 発達障害学生の人間像と重なる

高機能発達不均等 (HFDI) 学生の特徴 (HFDI: High-Function Developmental Imbalance)

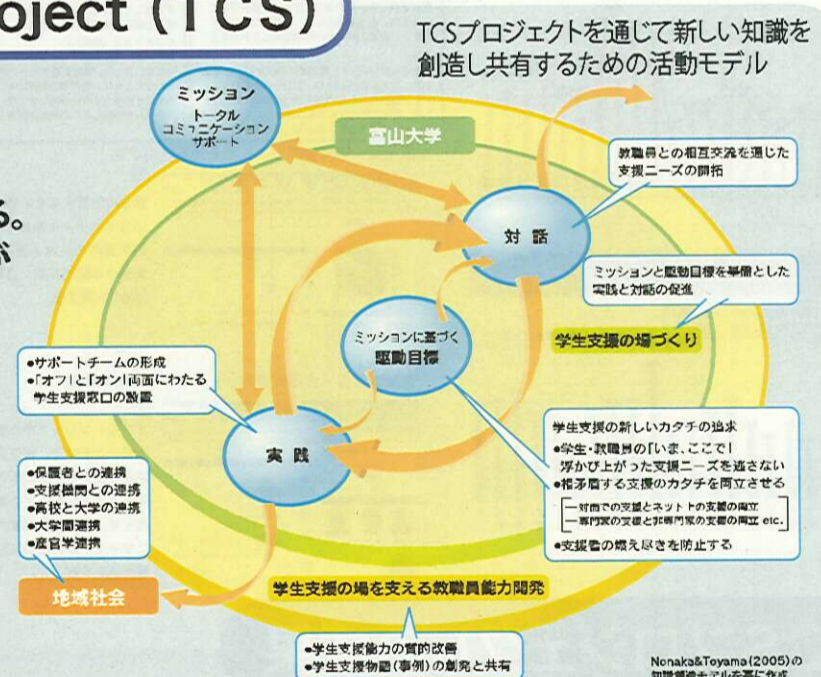
- 1) 知的発達の遅れを伴わない
- 2) 他人との社会的関係の形成が困難
- 3) 状況や相手の気持ちを汲むことが苦手
- 4) 興味や関心が特定のものに限られる
- 5) 被害感・怒りを持ち続けがち
- 6) 特定の卓越した能力を持っている

→ 彼らの能力は大学・社会の財産!

Total Communication Support Project (TCS)

TCSの特徴

- 1) 発達障害の診断を持つ、持たないにかかわらず、全てのコミュニケーションに関わる困りごとを支援の出発点とする。困難を抱えた学生や学生をサポートする教職員、保護者がサポートシステムに容易にアクセスできるための複数のチャンネルを用意する。
- 2) 学生をサポートしようとする教職員や家族へのサポート (メタサポート) を行う。
- 3) 大学在学中の学生のみならず、大学へ進学を希望する高校生を対象とした高大連携や、大学卒業後の社会参加のためのキャリアサポートを含むシームレスなサポートを視野に入れて活動する。



「オフ」と「オン」の調和による学生支援

- 対面(オフライン)でのサポートに加えて、ネット(オンライン)上でのサポート(富山大学PSNS: Psycho-Social Networking Service)を提供します。
- キャンパスライフでのより良いコミュニケーションの場を提供し、複数のアクセスチャンネルを確保します。
- 発達障害学生の特性を尊重したサポートを行います。

トータルコミュニケーション支援室



富山大学PSNSログイン画面

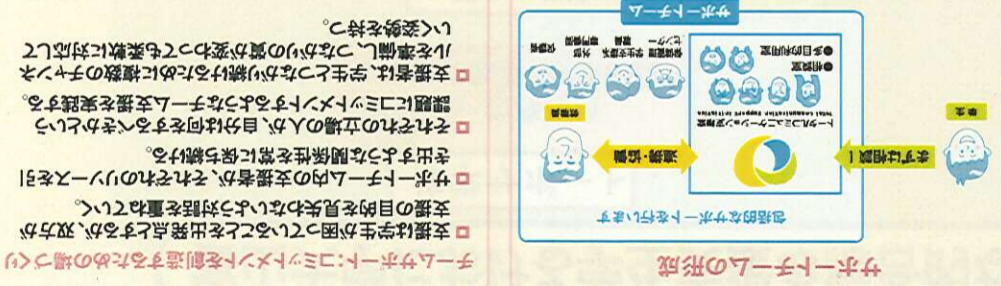


<https://shien.adm.u-toyama.ac.jp/>

オンラインシステム

トータルコミュニケーション支援室(TCSI)の設置

専門教職員を配属し、保健管理センター 連携して、サポートのコアとなる組織



サポートチームの役割

1. 対話の成立

対話を促進するような働き方、質問の仕方工夫することで、二者間でやりとりが促進され、「新たな物語の構築」が行われる。

2. セルフ・サポート

学生自身の対話と対話することによって、自身に起きる問題や物事を物語化することによって、自分自身の理解と向き合いやすくなる。自己理解が深まる。

3. アドバイス・サポート

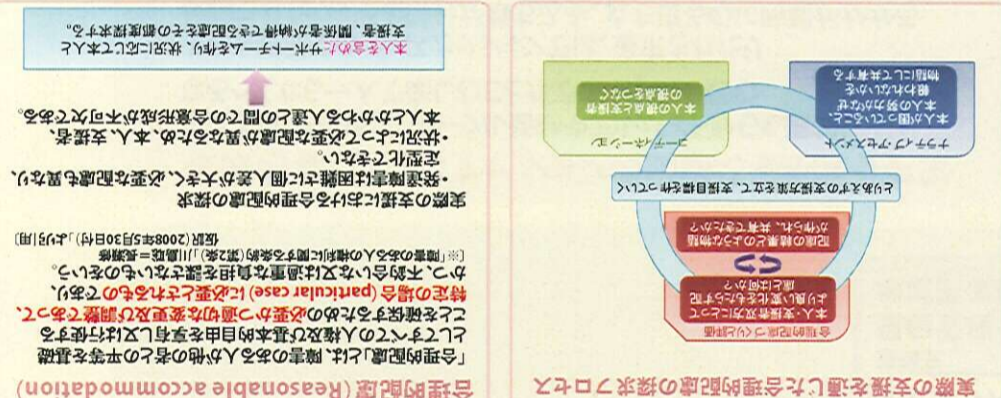
学生と支援者の対話が促進し、アセスメントが丁寧に行われると同時に、対話そのものが支援として機能する。つまり、コミュニケーション支援として位置づけられる。

合理的配慮 (Reasonable accommodation)

合理的配慮とは、障害のある人が他の者と同等を基礎としてすべての人権及び自由を享有し又は行使すること確保するための必要かつ適切な変更及び調整であり、特定の状況 (particular case) に必要とされるものであり、定型化できない。

・状況によって必要な配慮が異なるため、本人、支援者、本人とかわる人達との間で合意形成が不可欠である。

・本人を含め、サポートチームを作り、状況に応じて本人と支援者、関係者が納得できる配慮その都度探求する。



支援事例

行動の抑止感を持つアスペルガー症候群の学生

A: 理系学部4回生: 男子学生

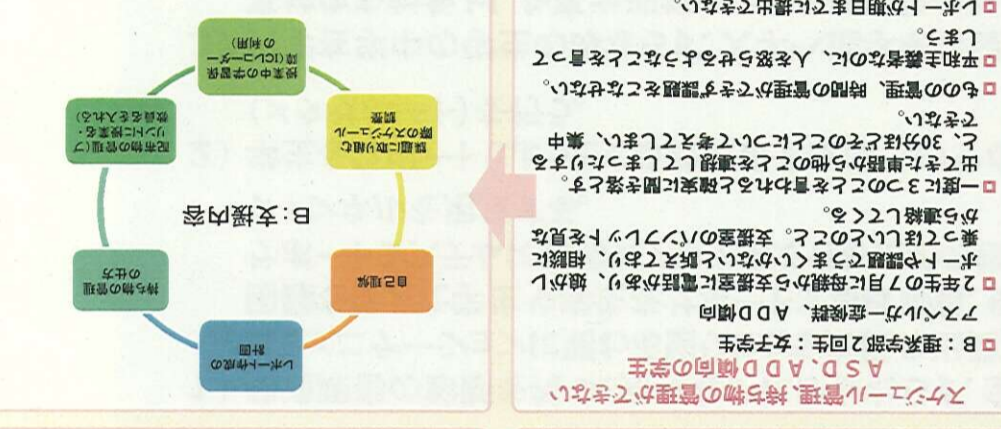
高校生の時にADHD、その後アスペルガー症候群と診断される。

大学1年生の4月後半、ある朝、一歩も動けなくなり、家で1ヶ月半くらいずっと寝ていた。

それ以前に、大学の構内でもそういうことがあり、足がつかず歩いて歩けないくらいにまでなっていました。

まっぴらという感じが、ほとんど動けなくなる。いすに座り込んだり、その場に座り込む。

2年間、そのような状態を続け、3年目に休学。今年の4月から復学し、病院からの紹介で支援室に繋がりが、支援を開始する。



学生本人に与える成果

高機能発達不均等 (HFDI) 学生が抱える「生きにくさ」に対して、キャンパスライフを中心として、入学直前、卒業直後までのシミュレーションやサポートが受けられる体制が整った。

教職員を含む大学に与える成果

個別のコミュニケーションやサポートによる協働を通じて、学生支援に関する知識・ノウハウを学内資産として蓄積する場が形成され、次の支援に活かすことができている。

社会に与える成果

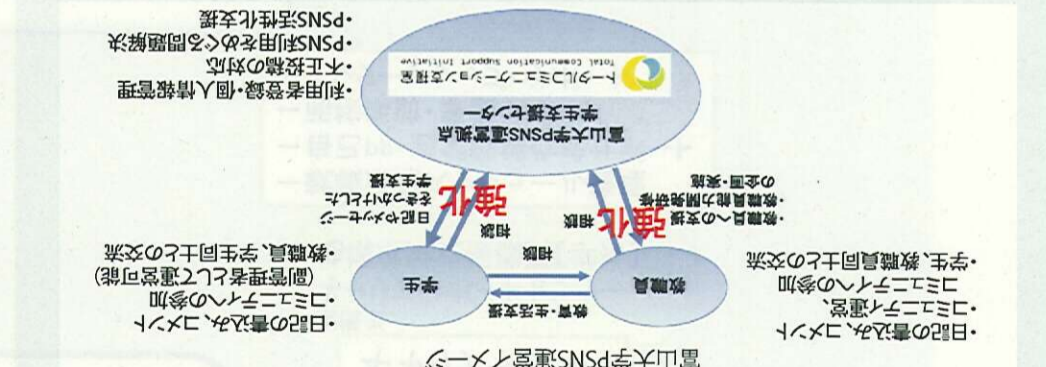
地域に開かれた支援を行うことで、高校生や卒業生のサポートも視野に入れた地域協働ネットワークを構築しつつある。

日本学生支援機構による障害学生修学支援ネットワーク事業に拠点校として参加し、全国の大学・短大・高専からの相談に応じている。

オンラインシステム

富山大学PSNS: Psycho-Social Networking Service

学生には... 安全で、健全で、生き生きとした、自己表現と相互交流の場と機会を提供します。教職員には... 安全で、無理がなく、いざという時に役に立ち、学生支援と学生支援のための支援の手段を提供します。



富山大学PSNSの主な機能

・日記の書き込み、コメント

・コミュニケーションの参加

・学生、教職員同士の交流

・教職員への支援

・教職員能力開発研修

・教職員同士の交流

・日記の書き込み、コメント

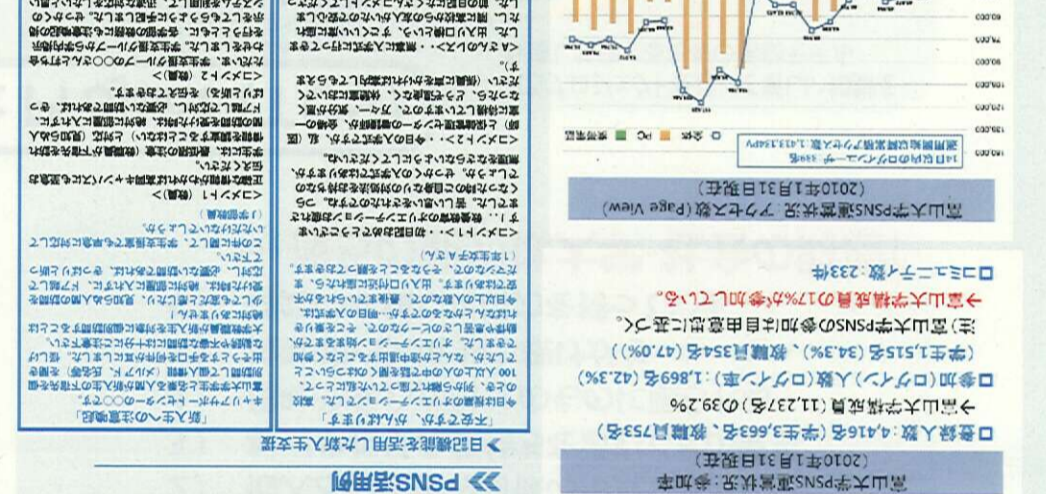
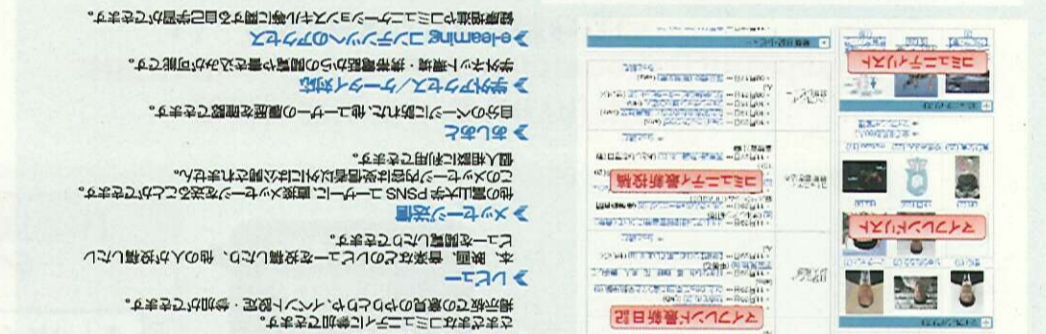
・コミュニケーションの参加

・学生、教職員同士の交流

・教職員への支援

・教職員能力開発研修

・教職員同士の交流



富山大学PSNS: Psycho-Social Networking Service

富山大学が運営者として全学構成員のみに提供する、Webサイトを通じたサービス

学生には... 安全で、健全で、生き生きとした、自己表現と相互交流の場と機会を提供します。教職員には... 安全で、無理がなく、いざという時に役に立ち、学生支援と学生支援のための支援の手段を提供します。